



鹿田小だより



元気いっぱい 勉強こつこつ 親切ハートの
岡山市立鹿田小学校



令和3年度 第12号 10月4日

秋本番，爽やかに！



暑かった8月，朝夕の気温が少しずつ下がっていった9月，そして10月。いよいよ秋本番を迎えます。四季の中で一番好きな季節は人によって違うと思いますが，総計でみると，1位は「春」で42%，2位は「秋」で32%，3位は「夏」で13%，4位は「冬」で4%だそうです。（「選べない」と回答した人が8%でした。）皆さんはどの季節が好きですか？私は秋です。秋は，気温や湿度が下がり，1年のうちで一番爽やかな季節だと思います。新型コロナウイルス感染拡大防止のため，自由に出掛けることはなかなかできませんが，せめて心だけはいつも爽やかでいたいものです。

2学期はじめから緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が立て続けに出され，「全校リレー大会」や「海の学校」が中止になりました。10月は「学年別リレー集会」や1・2年の校外学習，4年の山の学校，校内陸上記録会などたくさんの行事が目白押しです。感染防止に最大の注意を払いながら，一つ一つの行事の中で子どもたちの成長を支えていきたいと思ひます。

観察池がきれいになりました



南棟の東に観察池があります。以前は緑色に濁っていた観察池ですが，現在はきれいに透き通っていて，魚が泳ぐのがよく観察できます。これには，大元駅前町内会長の野崎満夫さんにご尽力いただいています。まず，水をきれいにするため，少しずつ水を入れてオーバーフローすることを教えていただきました。水がきれいになった後は，野崎さんがハスを植えてくださったり，メダカを50匹ほど入れてくださったりしました。野崎さんは学校が休みの日には，餌やりにも来てくださっています。

子どもたちはきれいになった観察池に興味津々。かわいいメダカが泳いでいる様子を見に集まっています。（密にならないように指導しています。）

野崎さん，ありがとうございます。



ハスの花が咲きました！



野崎さんが様子を見に来ていただきました。

ご存じでしたか？

鹿田小学校の校舎は大変美しいですが，その中でも特徴的なのが渡り廊下ではないでしょうか。4層になっている柱を樹木に見立て，「季節とともに新緑から紅葉へと変わっていく様子を表している」ことは以前学校便りでもお知らせしました。（令和元年度第15号）実はもう一つ，ランチルームの壁にも緑から赤へ移り変わるカエデが描かれています。気が付いていましたか？中に一つ金色のカエデもあります。探してみてください。

さらにもう一つ。一番下の写真は中庭ですが，動物が描かれています。わかりますか？右の方から口，鼻，目，耳，そして芝生の周りが角になっています。そうです，鹿です。鹿田ですから…設計者のセンスが光ります。



勉強の秋 ～がんばっています！～

「 $23 \div 4 = 5$ あまり3」の答え

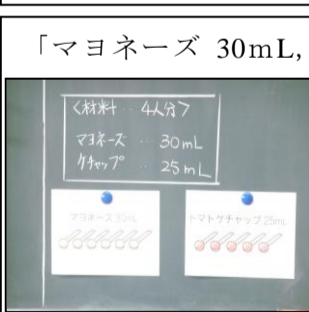


を確認する方法を，数図ブックとおはじきを使って考えています。

「ドロドロカッチン」布に液体粘土をかけ，固めて色をつけます。形と色づかいを工夫します。



「マヨネーズ 30mL，ケチャップ 25mL」家庭科の学習かな。いえいえ，算数の比の学習です。



生活科「秋のくらし」。ハロウィンの飾りを作りました。模様をつなげるのが難しいです。



自分の走り高跳びの様子をクロームブックで撮り，運動のポイントを見付けました。素晴らしい。



勉強ではありませんが，1年生のげた箱そうじ。高い所まで一生懸命に手を伸ばして拭いています。



我が家の周りには田がたくさんあって，稲が見事に育っています。あとひと月ほどで収穫を迎えるようです。「米」という漢字の成り立ちですが，農林水産省のHPでは，「十」に米粒が四方に飛び散ったところを表した象形文字だとありました。また，「米」という字を分解すると，「八」「十」「八」の3つで成り立っており，つなげて「八十八」と読めることから，「米を作るのには八十八の手間がかかる」という意味が込められているとも言われています。今でこそ，機械化が進んで負担も減っていますが，それでも30を超える手間がかかっています。私たちの食生活を支えてくれている「米」には，多くの手間がかかっているのですね。子どもを育てるのも同じで，多くの手間をかける必要があります。米作りには「米作りカレンダー」というものがあり，どのような作業をいつすれば，品質の良い米が収穫できるかが書かれています。どの時期にどんな手間をかければいいのか，しっかり見極めていくことが，子どものよりよい成長にとって大切ですね。

車での送りについて〈お願い〉

鹿田小学校では徒歩による登校にしていますが，やむを得ない事情があって車で送ってこられることがあると思います。その際は正門を通り過ぎて少し離れた場所に停め，お子様を降ろしていただくようお願いしています。正門の西側や正門付近（横断歩道付近）での停車は，後続の車が見えにくくなり児童が横断するときに大変危険です。ご協力をお願いします。



学校長のつぶやき ～手間をかける～

我が家の周りには田がたくさんあって，稲が見事に育っています。あとひと月ほどで収穫を迎えるようです。「米」という漢字の成り立ちですが，農林水産省のHPでは，「十」に米粒が四方に飛び散ったところを表した象形文字だとありました。また，「米」という字を分解すると，「八」「十」「八」の3つで成り立っており，つなげて「八十八」と読めることから，「米を作るのには八十八の手間がかかる」という意味が込められているとも言われています。今でこそ，機械化が進んで負担も減っていますが，それでも30を超える手間がかかっています。私たちの食生活を支えてくれている「米」には，多くの手間がかかっているのですね。子どもを育てるのも同じで，多くの手間をかける必要があります。米作りには「米作りカレンダー」というものがあり，どのような作業をいつすれば，品質の良い米が収穫できるかが書かれています。どの時期にどんな手間をかければいいのか，しっかり見極めていくことが，子どものよりよい成長にとって大切ですね。

